循環器内科研修の紹介

内科専攻医　２年目　神山医師

２０２２年１２月記載

４～６月	７～９月	10～12月	１月～３月
循環器			消化器内科
救急(勤医協)	循環器(長野中央)	ICU	総合診療

これまでのローテート

☑研修実績　…手術数、患者数など

1年目　CAG 150件程度(緊急も含む)　TPM　5件　PM交換5件
　　SWG 30件　　(緊カテやPCI、PMIのsecondは多数)
入院担当患者　5-10人
主な疾患：心不全 ACS 狭心症 弁膜症 肺高血圧症 心筋症 心膜炎 心筋炎 肺血栓塞栓症 深部静脈血栓症 不整脈(AF・PSVT・AT・PVC・VT）大動脈解離 ASO 急性動脈閉塞症 起立性低血圧症

医師体制　スタッフ医師6名
勤務　オンコール：8-10回/月　当直3回/月　当直明け休み　土：2回出勤　日：休み

☑特徴（魅力）…強み、他院との違い、指導体制など

当院の研修で魅力的な点は3つあります。
1つ目は症例数や手技を数多く経験できる点です。1年間でかなりのレベルまで力をつけることができるので内科専攻医2年目から外部研修を行いましたが、研修先でも恥ずかしい思いをすることがなく、耳原で研修を始めてよかったなと感じました。
2つ目としては、上級医に相談しやすい環境である点です。循環器内科内はもちろんですが他科へのコンサルトも敷居が低く、様々な科の先生に相談することができます。医局の先生方は皆さんとてもやさしく教えてくださるのでいつも助かっています。
最後は柔軟に内科研修を行うことができる点です。ぼくは内科一般をしっかりと勉強しつつ、けど手技もたくさん経験したいと考えていたのですが、循環器内科ローテ中も救急外来や隣の高砂クリニックの一般外来を行うことができ、また、入院患者では肺炎や尿路感染症、糖尿病などのコモンな疾患も担当しました。逆に他科ローテ中も研修の支障にならない程度ではありますがカテーテルの単位をもらうことができました。人によってはもっと内科一般を勉強したいという方や手技をもっと経験したいという人がいると思いますが、その当たりは希望次第で融通してくれるところが非常に魅力だと思います。

☑初期研修医へのメッセージ

循環器内科内だけでなく、医局の雰囲気がいいのでとても楽しく、特に色々できるようになってきてからは、日々自分の成長を実感することができるので毎日が充実しています。
もしよければぜひ一緒に研修しましょう！